

第37回廃棄物資源循環学会 研究発表会 参加報告

FROM JW CENTER

調査部

令和8年9月16日（水）～18日（金）に「第37回廃棄物資源循環学会研究発表会」が開催されました。発表者は、北海道札幌市の北海道大学札幌キャンパス工学部の会場から発表を行い、その様子はZoomでもオンライン配信されました。

JWセンターからは、以下の2件の調査結果について、9月16日に口頭発表を行いました。発表資料は、JWセンターホームページでご覧いただけます。

●発表タイトル

「使用済み太陽光パネルのリサイクルに関する取組状況調査」

URL https://www.jwnet.or.jp/info/assets/files/R07_chousa_UsedSolarPanels.pdf

「電機・電子産業における産業廃棄物適正処理・資源循環に関する取組事例」

URL https://www.jwnet.or.jp/info/assets/files/R07_chousa_denki_denshi.pdf

発表後の質疑では、太陽光パネルの再資源化物の種類別の割合や、再資源化物が有償で取引されているかどうかなどについて質問が寄せられ、本テーマに対する関心の高さがうかがえました。今後も、学会での発表等を通じて、産業廃棄物の適正処理や資源循環に関する業界の動向を広く関係者の皆さまにお伝えするとともに、ご意見をいただきながら、循環型社会の形成に向けた取組みに役立ててまいります。



写真 JWセンターによる発表の様子

防災体験ツアー 参加報告

FROM JW CENTER

令和8年9月11日（金）、25日（金）の2日間に分け、JWセンター役職員27名が、池袋防災館において、東京消防庁主催の「防災体験ツアー」に参加しました。

災害発生時に必要となる基本的な行動や知識を、実際の体験を通じて習得することを目的に、東日本大震災相当の揺れを体感したほか、煙が充満した室内からの避難や、消火器による初期消火訓練などを行いました。

近い将来の発生の切迫性が指摘されている大規模地震には、千島海溝地震、日本海溝地震、首都直下地震、南海トラフ地震、中部圏・近畿圏直下地震があります。

今回の体験を通じ、災害への備えを平時から行うことの重要性を改めて認識するとともに、職場や家庭における防災・減災への意識を一層高める機会となりました。

写真 左：震度7の揺れを体感 右：煙が充満した室内からの避難



令和8年8月19日に高度再資源化事業認定制度（類型1）の認定第一号となった石坂産業株式会社の取材に同行し、併せて分別分級を得意とする同社の処理施設と敷地内の環境教育フィールド「三富今昔村」を見学してきました。

石坂産業株式会社は再生材供給者として静脈産業をリードすることを目指して取り組まれており、当日は認定取得の背景だけでなく処分業者として資源循環にかける想いをお聞かせいただきました。

また、不法投棄された産業廃棄物が山積みになっていた場所をハーブ園に変えた区画 **写真** や落ち葉を活用した地域の伝統農法を継承する農場をご案内いただき、訪れた人が「ものを捨てること」と「自然の中で暮らすこと」について考えられるよう工夫された施設のあり方を学ぶこともできました。

取材を通して特に印象的だったのは、今回の事業認定のような新しい取り組みを若い世代の方々が中心となりベテラン職員に助けてもらいつつ進めている、というお話です。

廃棄物の適正処理や資源循環に資するJWセンターの事業に関わりはじめた人間として、循環型社会の形成をより主体的に捉えて行動していこうと身が引き締まる思いがした取材同行でした。

最後に、取材にご対応いただいた石坂産業株式会社の皆様方に心より感謝申し上げます。



写真 三富今昔村 10000の丘

令和8年版 廃棄物処理法令（三段対照）・通知集

●廃棄物の処理及び清掃に関する法律、施行令、施行規則（三段対照）

- ・ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律、施行令（政令）、施行規則（省令）を互の委任関係が分かりやすい三段対照として編集。
- ・ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律関係政省令及び告示も収載。

●主要通知

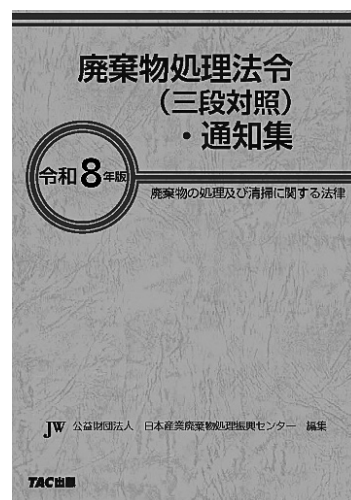
- ・ 排出事業者及び産業廃棄物処理業者に関わりのある通知を最新内容まで厳選して収載。

●資料編

- ・ 廃棄物処理法における罰則一覧、廃棄物関連ホームページ一覧を収載。

JWセンターホームページよりお申込みください。

URL <https://www.jwnet.or.jp/info/publish/hourei/index.html>



発行日：令和8年5月
定価 5,500 円（本体 5,000 円＋税）